

Augmented Town Workshop

人の変化と日常・非常をつなぐ、
しなやかな技術と地域の未来

キーワード レジリエンス

変化する人と揺らぐ日常に、柔軟かつ迅速に対応できる
新しい街のあり方を、XR やソーシャル・ロボティクスといった
先端技術を活用して、みんなで共創します。



本取り組みでは、直面する困難な状況をしなやかかつ強靱に乗り切る力である「レジリエンス」を中核に据え、人の変化への継続的対応と環境変化への適応・回復を支える仕組みの実現を目指します。

ワークショップの流れ (2泊3日)

01 課題の発見・リサーチ

対象地域をフィールドに、日々の暮らしに潜む課題や人の状態のゆらぎ、環境や状況の変化によって顕在化するリスクをリサーチします。それらを一体的に捉えることを重視します。



02 技術を活かした共創・プロトタイピング

大学と地域が共に進める研究プロジェクトの一員として、SFC が研究・開発を進める多様な技術を組み合わせ、日常から非日常までシームレスに機能する仕組みの設計・プロトタイピングに取り組みます。

センシング技術



データを収集・分析し、変化を可視化

XR による体験拡張



未来の暮らしを体験し新しい視点でデザイン

ロボティクスによる支援



人に寄り添い、支えあう社会を実現

応募スケジュール

5月25日(月)

課題公開・応募開始

6月8日(月) 正午

応募締め切り

特別協力 米子市、(一社) WebDINO Japan (順不同)

後援 鳥取県、日南町 (順不同)

お問い合わせ

慶應義塾大学 総合政策学部・環境情報学部
SFC 未来構想キャンプ担当

電話 0466-49-3418 [受付時間] 平日 10:00~15:00
Eメール camp-request@sfc.keio.ac.jp

イベント詳細



日程

2026年8月17日(月)~8月19日(水)



会場

鳥取県米子市内



対象

高校1年生・2年生・高等専門学校生



定員

20名程度



参加費

25,000円(予定)
(宿泊費、食費、旅行保険料
※現地までの交通費は含まれません。)



担当者

高汐 一紀 (環境情報学部)
瀧田 佐登子
(環境情報学部講師 (非常勤) ※秋学期予定)

イベント詳細・申し込みはこちら

詳細情報・応募方法などをご確認いただけます。

